

## 第 2 章 豪雨対策とは

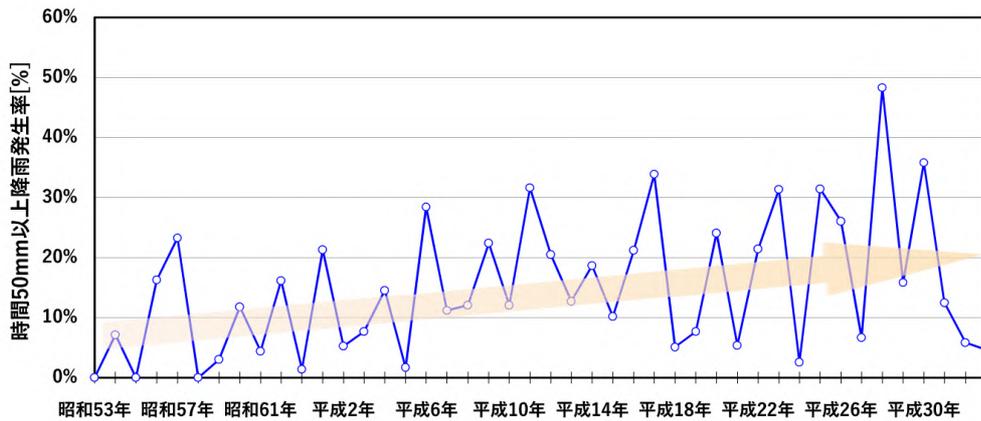
## 第 2 章 豪雨対策とは

### 第2章 豪雨対策とは

豪雨対策とは、河川整備、下水道整備、流域対策に加えて、浸水被害に関する情報や災害発生時の体制の整備などのハード対策・ソフト対策を含めた施策全般である。

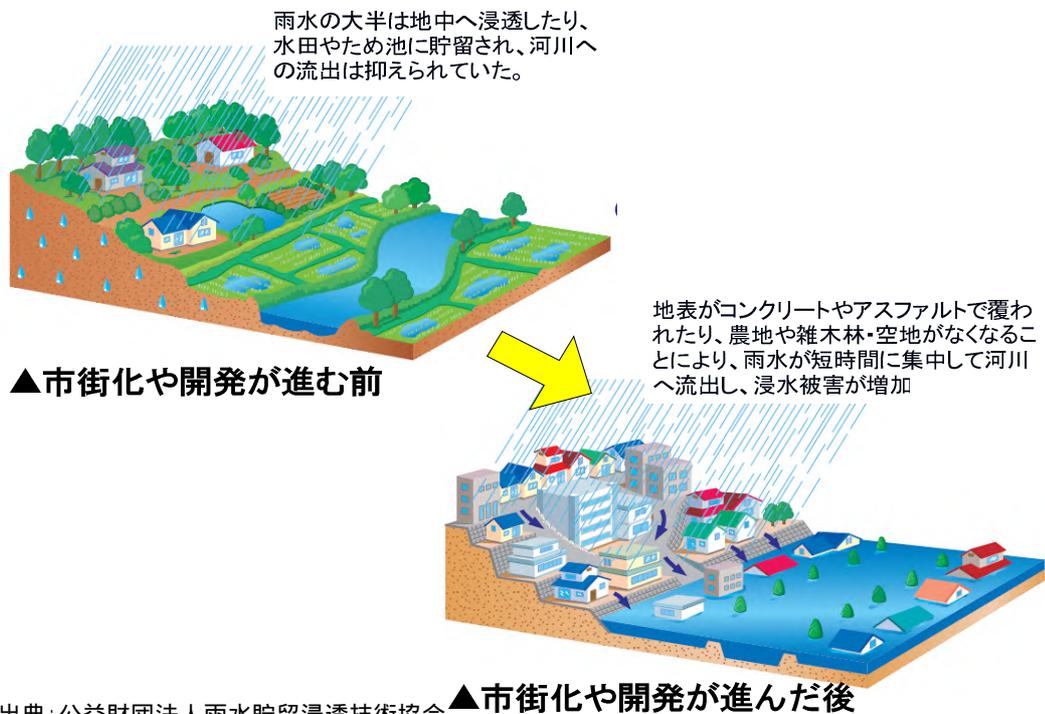
(解説)

近年、局地的集中豪雨が増加傾向にある。(図 2.1) これは、市街化や開発の進展及び田畑・緑地の減少により保水・遊水機能が低下したことが原因の 1 つとして考えられる。(図 2.2) このような浸水被害を防止するためには、さらなる河川整備、下水道整備を進めるとともに、短時間で一気に雨水が河川・下水道等に流出しないよう、流域対策(雨水流出抑制)を図るなど、河川流域全体での総合的な豪雨対策が必要である。



出典:東京都豪雨対策基本方針(改定)(令和5年12月)

図 2.1 都内の時間 50 ミリ以上の降雨発生率の経年変化



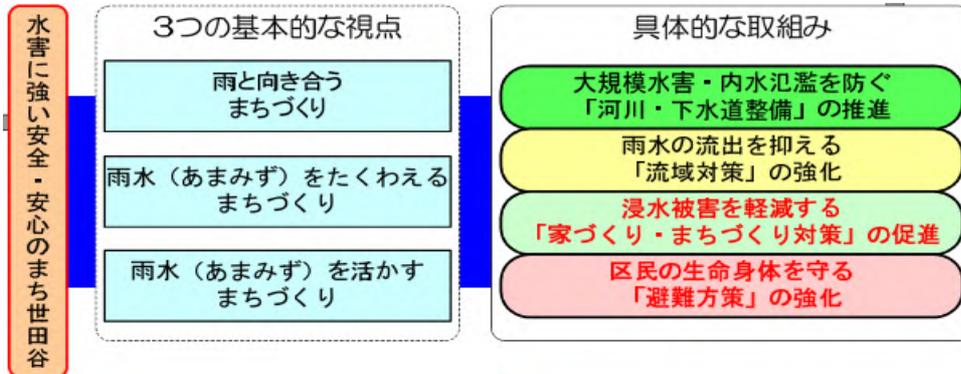
出典:公益財団法人雨水貯留浸透技術協会

「雨水貯留浸透施設の設置に対する支援措置のご紹介」(平成 19 年度版)

図 2.2 市街化による雨水流出量増大のイメージ

## 第2章 豪雨対策とは

区では、「世田谷区豪雨対策基本方針」および「世田谷区豪雨対策行動計画」を策定し、この中で、「3つの基本的な視点」と「4つの具体的な取組み」を掲げ、「河川・下水道整備」を担う東京都(多摩川は国)と連携して豪雨対策を進めている。(図2.3)(図2.4)



出典：世田谷区豪雨対策基本方針

図2.3 3つの基本的な視点と4つの具体的な取組み



出典：世田谷区豪雨対策行動計画(改定)

図2.4 豪雨対策のイメージ